



会報

シルバー 観音寺

第63号

発行所

公益社団法人 観音寺市
シルバー人材センター

〒768-0072

観音寺市栄町三丁目1番8号

TEL (0875) 24-0419

FAX (0875) 24-1154

三架橋と銭形花火



三架橋は、3連のアーチが美しく「日本百名橋」に選ばれている市内で最も美しい橋で、財田川に架かる長さ93m、幅員6mの鉄骨コンクリート下路式タイドアーチ橋です。三架橋の歴史は古く、文政12年（1829年）にはこの橋が存在していたことがわかっています。当時の橋は三連の太鼓橋で、丸木の寄せ造りの橋を渡り琴弾八幡宮に「参賀」するため「参賀橋」と呼ばれていました。明治18年には平面の木橋に改められ、昭和10年に現在の橋に替えられています。

写真は「第59回かんおんじ銭形まつり」初日の7月13日に開催された銭形花火で、ライトアップされた三架橋とともに撮影されています。今年は、財田川河口で4500発の花火が音楽とコラボして打ち上げられ、観音寺の夜空を明るく染めました。

令和6年度 定時総会 開催

令和6年度の定時総会は、5年ぶりに出席者の制限のない通常開催で行われました。

開会にあたり、佐伯理事長から、働く意思を持ち、社会参加や地域貢献にも、力を発揮いただいている会員の皆様に対し、今後とも、健康で働く意欲を持ち続けていただき、当センターの運営にご理解とご協力をお願いいたしますとの挨拶がありました。

今年度の総会では7名の会員表彰が行われ、大矢一夫市議会議員と香川県シルバー人材センター連合会の森事務局長からご挨拶をいただきました。

議事進行は、大山一夫理事が議長に選出され、第1号「令和5年度事業報告」、第2号「令和5年度収支決算」、第3号「役員選任」の3議案が審議され、承認可決されました。また、報告事項として、第1号「令和5年度補正予算」、第2号「令和6年度事業計画」、及び第3号「令和6年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込み」の3事項を報告し、定時総会を終了しました。

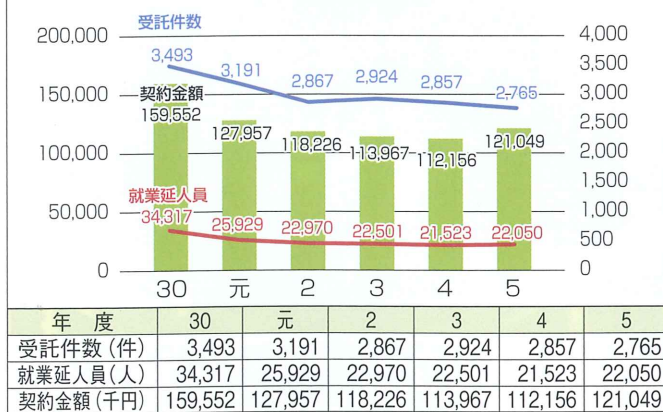


令和5年度 事業実績

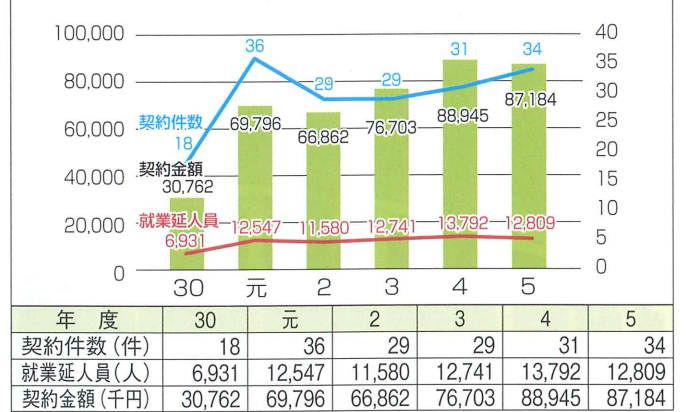
○受託事業契約金額 1億2,105万円
○派遣事業契約金額 8,718万円

令和5年度の受託事業は、新型コロナウイルスの影響を受けた過去3年間に比べ、受注機会の減少に歯止めが掛かったこと等により、前年度比で約890万円増の107.9パーセントとなっている。
一方派遣事業では、前年度比で契約額が約176万円減の98.0パーセントとなった。

受託事業実績



派遣事業実績



令和6年度予算

(千円)

(1)経常収益	
受託事業収益	126,904
労働者派遣事業受託収益	8,900
受取会費	640
受取補助金	15,200
その他	4
計	151,648
(2)経常費用	
事業費(シルバー人材センター事業)	153,149
管理費(法人管理)	1,349
計	154,498
当期正味財産増減額	△ 2,850
一般正味財産期首残高	68,680
一般正味財産期末残高	65,830
正味財産期末残高	65,830

令和6年度 事業計画(抜粋)

- 1 基本方針
 - 会員の平均年齢の上昇や新規会員の入会不足が課題であるが、引き続きコロナ禍前の会員数への回復と就業機会の確保や安全・適正就業の推進に努める。
 - また、共働・共助の意識を高め、公平な就業機会の提供に努める。
- (1) シルバー人材センター事業
 - ① 受託調整事業
 - ② 職業紹介事業
 - ③ 労働者派遣事業
 - ④ 調査研究
 - ⑤ 普及啓発
 - ⑥ 安全・適正就業の推進
 - ⑦ 就業機会の開拓・拡大
- (2) 法人管理事業
 - ① 会員の増強目標 360人
- ② 会員の福利厚生事業
- ③ 諸会議の開催(総会・理事会)

新役員名簿

理事長	佐伯 明浩
副理事長	挽田 公孝
理事	大矢 一夫
理事	奥田 拓己
理事	角崎 巧
理事	茨木 大
理事	田中 英昭
理事	藤田 忠信
理事	清水 宏
理事	岡田久美子
理事	若山 幹生
理事	大山 一夫
理事	藤堂 正人
理事	森 光雄
理事	井上 力
常務理事	大西 憲裕
監事	田代 直樹
監事	合田 耕三

どうぞよろしく申し上げます。

新会員理事紹介

若山 幹生 理事

(常磐地区)



私は、シルバー人材センターの紹介で現在の職場で仕事をしております。今年で15年目となります。長寿社会と言われる今、人生の後期に希望にかなった職場で働けることは幸せです。

シルバー人材センターは、地域、会員の皆様にとって大切な組織です。多種・多様な情報により、私たち会員が希望した職場で活動することで地域に貢献でき、豊かで幸せな人生の後期を送ることができます。

これから、新理事として会員の皆様のご意見やご希望をお聞かせいただくとともに、諸先輩方のご指導を賜りながら、一層の精進に努めてまいります。

会員紹介(広報委員取材班)

紀伊地区 伊達 義明

2024年7月 センターの会議室にてインタビューしました

—会議室のドアを開ける前から、会話が聞こえてくる。少しホッとすると事務局長と談話中だった。よく喋ってくれそうだ。—

入室すると、挨拶してくれた精悍な感じで短髪、やや細身

今回会員紹介に登場するのは、今年4月シルバー会員登録の66歳 伊達義明さんです。

—第一印象はスリムな体型で、スポーツ刈というのか短髪。長距離走者かなと想像し、何かスポーツを?

意外な答えが、「少林寺拳法7段、正範士です。」えーっ。容姿からは格闘技をするようには見えない。

拳を見せてもらった。格闘家のゴツゴツした手ではない。首も細いし、格闘家によくある耳の潰れもない。目は、優しそうだ、鋭さがある。—



◇前職は?

「四国中央市の大手製紙会社で保安警備業務を30年以上続け、一昨春秋に退職しました。」

◇保安警備の主な仕事は?

「会社に入入りする人が、身分証明書や入門許可証を持っているか? その許可証に記載されている人物で間違いのないかの確認。」

また、危険物の持ち込み、社有品の持ち出しを厳しくチェック。敷地内には可燃物が大量にあるため、火気取扱い工事では厳重なチェックが必要です。」

◇シルバーでのお仕事は?

「今年春から、旧紀伊小学校グラウンドの草削りを5名のチームで、月1回ペースでの作業が現在の仕事です。」

◇少林寺拳法以外には何か?

「詩吟を習い始めて3ヶ月です。保護司もしています。」

更生を、手助けする人ですか?

「そうです、自分から志願して保護司になり、もう7年です。」

◇シルバーの旅行が楽しみ?

「以前の勤め先は24時間交代制の勤務形態で、社員旅行は無かったから、みんな楽しんで旅行に行けるのが待ち遠しい。」

—取材を終えて

明るく元気で、何事にも積極的に取り組む姿勢が感じられました。シルバーを盛り上げてくれる存在と、確信しました。—

【取材者】広報委員 八百夫婦、藤井

シルバー人材センターからのお知らせ



フリーランス新法とデジタル化

令和6年11月1日にいわゆる「フリーランス新法（特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律）」が施行されます。この法律はフリーランスの方が安心して働ける環境を整備することを目的としているもので、会員の皆さんも請負や委任の形態で就業される場合は、このフリーランスに該当します。

この法律が施行されると、原則として就業される会員さんに対して、シルバー人材センターから業務の内容や報酬の額などをお示し（口頭での説明も含む）します。

なお、発注者が事業者の場合は、就業条件を記載した「業務仕様書」等を、書面や電磁的方法により明示することになります。ただ、書面を手渡しや郵送する場合、事務負担や経費の増大、また就業開始までに時間がかかることが懸念されます。

そこで、請負等業務の受付から就業、報告、請求までの事務を迅速かつ効率的に進められるよう、スマートフォンやパソコン等を活用したデジタル化を進めていく必要があります。

会員専用サイト「Smile to Smile」とスマートフォン教室

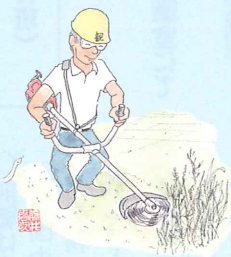
センターでは、会員の皆さんとセンターとのコミュニケーションを推進することを目的とした会員専用サイト「Smile to Smile（スマイルトゥスマイル）」を導入し、会員の皆さんが「業務仕様書」等の内容をスマートフォン等のデジタル機器で、自ら確認できるように準備を進めています。将来的には、センターからのお知らせや個人の配分金明細の情報等を確認いただけるようになります。

今後、会員の皆さんに「Smile to Smile」の登録に必要なログインIDとパスワードを発行していく予定です。パスワードの発行につきましては準備が整い次第、順次ご案内しますので、スマートフォン等をお持ちの会員さんは、是非ご登録をお願いいたします。

なお、会員の皆さんがデジタル環境を活用しやすくなるよう、会員向けのスマートフォン教室を開催する予定です。日程等は別途ご案内しますので、興味のある方はご参加いただきますようお願いいたします。

シルバー会員募集中!! のりあいバスの運転手を募集しています。

こんな仕事を引き受けます（見積無料）



ご家庭で

田畑の草刈・庭の除草、植木の剪定、大工仕事、網戸張替、掃除、筆耕
（毛筆・ペン・宛名書き）

事業所などで

施設内の清掃、除草
（定期、不定期を問わず）
定期的な軽作業・事務・繁忙期の
手伝い・品揃え（労働者派遣でも対応可）



編集後記

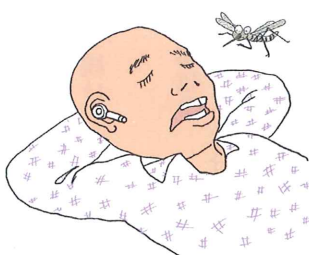
会報「シルバー観音寺」第63号をお届けいたします。

ご多忙の折、玉稿をお寄せいただいた方には厚くお礼申し上げます。

パリ五輪が終り、日本列島猛暑の今夏もやっと治まり、しのぎよくなつた今日この頃、関係者の皆様にはご自愛のうえ、お元気で活躍されますよう祈念申し上げます。

これからも会員の皆さんに親しまれる紙面づくりに努めたいと思っておりますので、一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

広報委員会一同



挿絵 藤井啓次(会員)